



ゲバード[®]ギア

エアー粒剤 散布マニュアル



多年生雑草に強い!
「アルデア」増量配合^{*}

^{*}アルデアはメタゾスルフロン愛称です。^{*}当社一発剤比[®]は登録商標

あのゲバードが、除草力のギアを上げた！ ドローンで撒ける「ゲバードギア エアー粒剤」

葉齢の進んだ雑草への効果を追求した「ギア」が誕生。

配合した除草成分同士の“相性の良さ”で、より大きな雑草も枯らせるようになりました！



農林水産省登録：第24928号

有効成分：シクロピリモレート・・・5.0%

フェンキノトリオン・・・8.3%

メタゾスルフロン・・・4.0%

容 量：900g入(30アール分)

水稻用 中後期除草剤

ゲバード[®]ギア[®]

エアー粒剤



あのゲバードがさらにパワーアップ！新しい水稻用中後期除草剤、登場！

- **難防除雑草により強く！枯らせる大きさがアップしました。**
・ホタルイは花茎20cmまで！・クログワイは草丈50cmまで！・オモダカは矢尻葉4葉期まで！
- **アルテアを最大量配合しています。(12g a.i./10a)**
- **エフィーダ[®](有効成分:フェンキノトリオン)と、サイラ[®](有効成分:シクロピリモレート)を配合した、3種混合の水稻用・中後期除草剤です。**



多年生雑草に強い！
「アルテア」増量配合^{*}

ドローンによる散布法

● 圃場周辺への飛散防止と薬剤を十分拡散させるために、以下の条件を守って散布してください。

〈散布条件〉

飛行高度：2～3m

風速：3m/秒以下

畦畔からの距離：10m以上

水深：5cm以上

〈散布幅〉

30m以下※

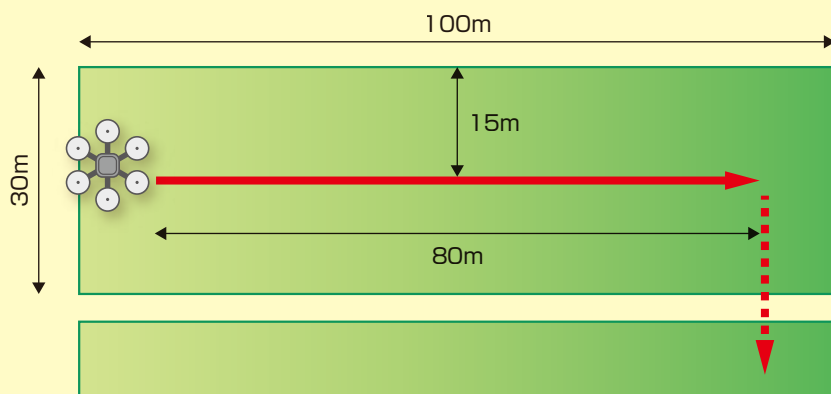
(片側15mまで拡散します)

※藻、浮草、表層剥離が発生している場合は適宜、散布幅を狭めてください。

● 推奨散布方法

機 体	散布装置	飛行速度	インペラ 回転数	開度 (ボリューム)	吐出時間 秒/10a	散布距離 m/10a	散布幅	30×100m圃場 の飛行ルート
AGRAS T10 AGRAS T25 AGRAS T30	GS110(T) GS440(T)	15km/時	600 rpm	17.2%	6.4	26.7	30m以下 (片側15m以下)	圃場中央 片道1回(80m)
MG-1 MG-1K T-20 T-20K	GS110 GS110K GS220 GS220K			35.5%	19.2	80		圃場中央 1.5往復(240m)
AC101connect AC102	AC101 P13		遅	52%	12.8	53.3		圃場中央 1往復(160m)
YMR-08 YMR-II	GR1-10 ひし形ローラー		固定	69	19.2	80		圃場中央 1.5往復(240m)

● 飛行ルートの例 例)30aの圃場(30×100m)を中央片道散布する場合



薬剤は15mまで拡散しますので、幅30mの圃場であれば中央片道散布が可能です。1往復以上の飛行で散布する場合は中央散布以外でも問題はありませんので、隣接田を続けて散布する場合などは適宜散布幅を調整してご使用ください。

● 散布距離と飛行速度から吐出量を調整する場合

① 吐出量を決める

1分当たり、何gの薬剤を吐出させるかを以下の手順で求めます。

$$\text{吐出量 (g/分)} = \frac{\text{処理量 (g)}}{\text{散布距離 (m)}} \times \text{飛行速度 (m/分)}^{\#}$$

#10、15、20km/時=167、250、333m/分

例) 40a圃場(40×100m)を15km/時で散布する場合

1往復	吐出量=1,200g÷160m×250m/分=1,875g/分
1.5往復	吐出量=1,200g÷240m×250m/分=1,250g/分
2往復	吐出量=1,200g÷320m×250m/分=937g/分
2.5往復	吐出量=1,200g÷400m×250m/分=750g/分

② シャッター開度を調整する

①で決めた吐出量に合わせたシャッター開度に調整します。各散布装置の吐出量目安表を参考に調整してください。なお、往復回数は少ない方が効率的ですが、各散布装置には

吐出量の上限があるので、吐出目安表に希望する吐出量がなければ、往復回数を増やすことで吐出量を減らして開度を決めてください。

吐出量目安表と散布例 ※「目安表」ですので、必ず試し撒きを行った上で、調整してください。

機 体 ; ■ AGRAS T10, T25, T30
 散布装置 ; ■ GS110(T), GS440(T) (DJI)

最大積載量 ● GS110(T) : 1.6ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
12.5%	1,215	40.5
13.0%	1,376	45.9
13.5%	1,539	51.3
14.0%	1,703	56.8
14.5%	1,868	62.3
15.0%	2,034	67.8
15.5%	2,202	73.4
16.0%	2,370	79.0
16.5%	2,540	84.7
17.0%	2,711	90.4
17.5%	2,883	96.1

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
18.0%	3,057	101.9
18.5%	3,231	107.7
19.0%	3,407	113.6
19.5%	3,584	119.5
20.0%	3,762	125.4
20.5%	3,942	131.4
21.0%	4,122	137.4
21.5%	4,304	143.5
22.0%	4,487	149.6
22.5%	4,671	155.7
23.0%	4,857	161.9

散布例

40×100m圃場を
 15km/時、1往復で散布
 (散布距離:80m×2=160m)

↓
 吐出量=1,875g/分

↓
 開度=14.5%
 (1,868g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
 以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

機 体 ; ■ MG-1, MG-1K, T20, T20K
 散布装置 ; ■ GS110, GS220 (DJI)
 ■ GS110K, GS220K (クボタ)

最大積載量 ● GS110 : 1.6ha分

最大積載量 ● GS110K : 1.6ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
24.0%	493	16.4
25.0%	528	17.6
26.0%	563	18.8
27.0%	599	20.0
28.0%	635	21.2
29.0%	672	22.4
30.0%	709	23.6
31.0%	747	24.9
32.0%	785	26.2
33.0%	824	27.5
34.0%	863	28.8

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
35.0%	902	30.1
36.0%	942	31.4
37.0%	983	32.8
38.0%	1,024	34.1
39.0%	1,065	35.5
40.0%	1,107	36.9
41.0%	1,149	38.3
42.0%	1,192	39.7
43.0%	1,235	41.2
44.0%	1,279	42.6
45.0%	1,323	44.1

散布例

40×100m圃場を
 15km/時、2往復で散布
 (散布距離:80m×4=320m)

↓
 吐出量=937g/分

↓
 開度=35.5%
 (922g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
 以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

注)45%を超えると吐出量は頭打ちになりますので、45%迄での使用をお願いします。

(P3の手順で吐出量を決め、それに合うシャッター開度を決めるのにご使用ください。)

機 体 ; ■ AC101connect, AC102(NTTイードローン)
 散布装置 ; ■ AC101 P13(NTTイードローン)

最大積載量 ● AC101 : 1.8ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
30%	774	25.8
35%	894	29.8
40%	1,025	34.2
45%	1,168	38.9
50%	1,322	44.1
55%	1,488	49.6
60%	1,664	55.5
65%	1,852	61.7
70%	2,052	68.4
75%	2,262	75.4
80%	2,484	82.8

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
85%	2,717	90.6
90%	2,988	99.6

散布例

40×100m圃場を
15km/時、1往復で散布
(散布距離:80m×2=160m)



吐出量=1,875g/分



開度=65%
(1,852g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を「遅」に設定した場合

機 体 ; ■ YMR-08, YMR-II
 散布装置 ; ■ GR1-10 (ヤマハ)

最大積載量 1.3ha分

□ ひし形ローラー : オプション

ボリューム	吐出量g/分	面積換算a/分
20	549	18.3
25	591	19.7
30	632	21.1
35	672	22.4
40	712	23.7
45	752	25.1
50	790	26.3
55	829	27.6
60	866	28.9
65	903	30.1

ボリューム	吐出量g/分	面積換算a/分
70	939	31.3
75	975	32.5
80	1,010	33.7
85	1,045	34.8
90	1,079	36.0

散布例

40×100m圃場を
15km/時、2往復で散布
(散布距離:80m×4=320m)



吐出量=937g/分



ボリューム=69
(932g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量
以下になるように設定してください。

※インペラを装着していない状態で測定した場合

エアー粒剤 散布事例

ドローン散布には、「**エアー粒剤**」がおすすめ！
その省力性は、オペレーター様からも認められています。

2019年 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場 鹿児島県伊佐市
耕種概要：6/17 移植
6/19 マーシェットジャンボ処理
7/11 アルテア中後期エアー粒剤、1キロ粒剤処理
8/1 調査
圃場規模：エアー粒剤…28a(29×98m)
1キロ粒剤…31a(31×98m)
機種：MG-1K
設定/作業時間：右表
処理時雑草：発生なし
効果：両剤ともに雑草なし

オペレーター様のご感想

1キロ粒剤と比べて往復回数が少なく、
散布幅を気にする必要もないので
作業が楽だった。

	エアー粒剤	1キロ粒剤
飛行高度(m)	2	2
飛行速度(km/時)	10	15
シャッター開度(%)	35	20
インペラ回転数(rpm)	600	1,200
モード	M	M+
散布方法(往復回数)	1	3
作業時間 [*] (分/圃場)	2.89	5.51
作業時間 [*] (分/ha)	10.3	17.8
作業人数(人)	2	2

※薬剤投入などの準備作業含む

■ ゲバードギア エアー粒剤の適用雑草と使用方法

↑ 本剤及び、それぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数 [↑]	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ、セリ オモダカ、クログワイ	移植後14日～ ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで	300g /10a	本剤……………1回 シクロピリモレート剤 ……2回以内 フェンキノトリオン剤 ……2回以内 メタゾスルフロン剤 ……2回以内	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布

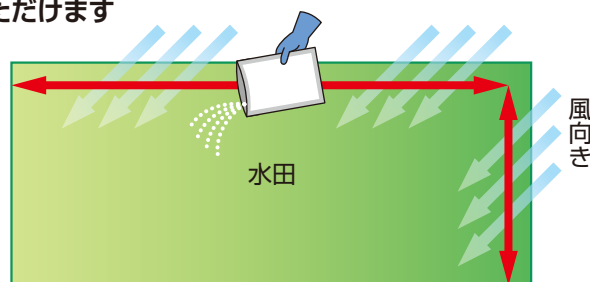
■ 各種雑草の散布適期

雑草名	散布適期
ノビエ	4葉期まで
コナギ	心形葉2葉期まで
ホタルイ	花茎20cmまで
ウリカワ	5葉期まで
ミズガヤツリ	草丈20cmまで
ヘラオモダカ	3葉期まで
ヒルムシロ	発生盛期まで
セリ	再生期まで
オモダカ	矢尻葉4葉期まで
クログワイ	草丈50cmまで

■ 湛水周縁散布でもご使用いただけます

風上側の畦畔2辺に撒くだけで、
除草ができます(周縁散布)。

※藻類・ウキクサ等のある場所への
散布は避けてください。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年4月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

GPG-APR1A